

No.666 (改題626号)
2025年
5月21日(水) 合併号

新社会兵庫



週刊 新社会

発行所：新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三蔵工業ビル3F
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4水曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

阪神・石屋川駅から川沿いに山に向かって歩いて5分ほど、国道2号線に面して白と薄紅色が爽やかに映える御影公会堂が建っている。御影町公会堂として昭和初期の1933年、白鶴酒造の加納治兵衛氏による寄付と町費積立金などを基に造られた地上3階・地下1階の立派な建物。しかし、3度の神戸大空襲で御影の町は焦土と化し、公会堂も被災した。のち神戸市に合併して修繕・改修されて再開された。千人収容できる大ホールは当時、神戸市最大の集会施設として、また、結婚式場としても利用された。老朽化が進み改築を検討していたさなか、阪神・淡路大震災に見舞われ、周囲の建物の多

ひょうづい 161 描き歩き



御影公会堂

(神戸市東灘区)

くが全半壊となったが、この公会堂はほとんど被害はなく、被災者の避難場所として約1年近く活用された。建物外はほぼそのままにして8年前にリニューアルされて今在る。建設当初からあった地下の食堂は今も人気で、とりわけオムライスが美味とか。市民の憩いの場として利用され、ホールや階段は歴史を感じさせる。館内に御影郷土資料室があり、御影出身で柔道の祖と言われている嘉納治五郎氏の記念コーナーもある。横を流れる石屋川の向こうに六甲連山が望める。川沿いの公園に野坂昭如の「火垂るの墓」の碑や近くのアパートで震災死した夫婦の「生きた証」の碑も立つ。(嶋谷)



5・3兵庫憲法集会に3500人

戦後80年という歴史的な節目の今年の憲法記念日。神戸市中央区のみなどのもり公園では、「戦争させない、9条壊すな」総がかり行動兵庫実行委員会」が主催する恒例の「5・3兵庫憲法集会」が、約3千500人が参加して開かれた(写真)。いまこの国では日本国憲法を蹂躪する「安保三文書」にもとづき、日米軍事一体化と戦争準備の推進のために、膨大な軍事費を費やして敵基地攻撃能力をも備えた軍備の増強が自公政権によって図られている。まさに「戦争国家」への道だ。昨年の総選挙で自民党が大敗し、改憲勢力が3分の2を割るなかで明文改憲は遠のいたかに見えるが、実質的な憲法9条の破壊はかつてない規模と内容で深刻に進む。こうした状況を改めてしっかりと見詰め直し、憲法前文と9条の理念を生かした平和外交の道を進めていく世論の高まりが求められている。いつか来た道を再び歩まなければならないし、歩んではならない。そうした思いを込めた「戦争させない、9条壊すな」のシュプレヒコールが五月晴れの下で高らかに響いた。

戦争させない、9条壊すな！



畠山澄子さん

「被爆80年・戦後80年憲法はあなたの命と未来のサポーター」のサブタイトルを掲げた今年の5・3兵庫憲法集会は、エネルギーな川口真由美さんと島田篤さんの音楽で始まった。主催者を代表してあいさつに立った羽柴修弁護士(9条の心ネットワー)は、総がかり行動・兵庫の憲法集会は今年10年目であることを紹介し、被爆80年・戦後80年の節目の年にあたり、「憲法を活かす意見広告運動」に取り組み、5月3日の憲法記念日の神戸新聞朝刊に掲載したことを報告した(本紙2面に写真。また、戦争準備が進んでいる今日の状況にも触れ、ややもすれば未来への希望を失いがちだが、9条の信念を変えさせてはならないと訴えた。

斎藤知事は責任取り辞職を 県庁前で 人間の鎖 第2波

斎藤知事のバワハラ疑惑等を告発した文書や告発者への県の対応をめぐり、県が設置した第三者委員会は3月19日、知事のバワハラ10件を認定し、告発者探しや懲戒処分を行ったことは明らかに公益通報者保護法に違反していると断定する報告書を発表した。斎藤知事は「対応は適切だった」としてこの受け入れを拒否しつづけている。このため、県政の混乱が今なお続いている事態を憂う市民らは、斎藤知事の責任を問いつつ、即時辞職を求めて県庁2号館前でヒューマンチェーンの行動の第2波を4月23日午後、1時間ばかり実施した。行動では、参加者がマイクリレーで斎藤知事の対応を次々と批判。公益通報者保護法に違反する自らの行為・対応を反省することもなく、懲戒処分の撤回や自らへの処分をも否定し続ける斎藤知事を糾弾するアピールが続いた。「このままでは兵庫県は無法地帯となってしまう」と訴えた。



県庁2号館の前で150人が参加して「知事は辞職を」のアピール＝4月23日、神戸市中央区

【おしらせ】次号は通常通り第2水曜日の6月11日付の発行です。



集会後は3コースに分かれてデモ行進を行った＝5月3日、神戸市中央区

水脈

「タリフマン」を気取るトランプ大統領がそろそろ錯乱から醒めてよい頃だと思ふのに、「妄想」がますます酷くなるのか、今度は国外で製作された映画の輸入に100%の関税だ、と。他国の映画製作に対するさまざまな優遇策でハリウッドの映画産業は壊滅的な打撃を受けているという▼アメリカでも人気の日本のアニメ映画を日本政府がどれくらい優遇しているのかどうか知らないが、アメリカ政府が後世に残るようないい映画のためにハリウッドを支援したってこともかまわない▼関税をめぐる日米交渉、今後の展開は不明だが、交渉では「国益」最優先と言ふこの間の日本政府の対応は疑問だらけだ。まず、4月の交渉に突如割り込んできたトランプの前に「格下の格下」と卑下してみせた赤沢経済再生相。政府を代表する交渉人がこんな態度では、不安を覚えた人も多いのでは▼また、「日本にはアメリカ車が1台も走っていない」と難癖をつけるトランプに迎合するかのよう自動車安全基準の緩和や、遺伝子組み換えが懸念されるコメや大豆、トウモロコシの輸入増大という対抗カードで交渉に臨むとして、農業や国民の生命の安全を犠牲にする「国益」っていったい何なのだ。

尼崎市議選

本番へ全力でGO!
いちのせ剛決起集会



会場いっぱい150人が参加していちのせ剛さんを励ました＝5月11日、尼崎市

任期満了に伴い6月8日告示、15日投票日となる。5期務めたつぎ徳昭さんからバトンを受けて市

議選に挑む新人のいちのせ剛さん(46)の決起集会が5月11日、尼崎市のテレビエで開かれた。会場いっぱい150人が参加し、会場は、いちのせ剛さんへの熱い期待と温かい激励に包まれた。冒頭、いちのせ剛後援会長のつぎ市議があいさつ。候補者乱立で激戦必至の選挙戦に向け、情勢が大きく動きかねない今からのひと月の運動の大切さを強調、後継者であるいちのせ剛の支持拡大と支援を改めて訴えた。来賓として松本眞尼崎

市長も激励にかけつけ、いちのせ剛さんへの大きな期待感を表明した。ついで地域の支援者、友人、職場の仲間、子育て中の若い母親、学生時代の友人の大学教員ら5人からも次々といちのせ剛さんに熱い期待を込めたエールが送られた。これらの声援を受け、「会話からはじまる街づくり」を掲げるいちのせ剛さんが市議選への決意を語った。社会の急激な変化のなかでの会話、人と人の結びつきの大切さをとりわけ強く訴えた。

総がかり行動兵庫県実行委員会
憲法記念日に意見広告

総がかり行動兵庫県実行委員会 行委員会が憲法記念日の

被爆80年・戦後80年
憲法はあなたの命と未来のサポーター

戦争させない、9条壊すな! 総がかり行動兵庫県実行委員会

5月3日の神戸新聞朝刊に掲載された意見広告

改憲の動きをウォッチング

憲法に関する世論調査 共同・毎日に見る
共同通信
共同通信社は1日、憲法記念日の5月3日を前に憲法に関する郵送方式の世論調査をまとめた。それによると、改憲の進め方は「慎重な改憲も含めた幅広い合意形成を優先するべきだ」72%で、「前向きな改憲で条文案の作成に入るべきだ」の24%を大きく上回った。さらに国会で改憲の議論を「急ぐ必要がある」は48%、「急ぐ必要はない」は50%だった。

改憲以外の項目では、選挙の際、真偽不明の情報や交流サイト(SNS)で拡散することに「法律での規制が必要」を選んだ人は58%、「事業者などの自主的な規制が必要」は29%だった。選択的夫婦別姓は「賛成」71%となり「反対」は27%と差が開いた。

SNSの偽情報拡散は昨年11月の兵庫県知事選などで問題化した。質問では、憲法は「表現の自由」を保障していると前の置きしものの「規制は必要ない」は11%だった。世論調査は3、4月、男女3千人を対象に実施された。

毎日新聞は4月12、13日に実施。石破首相の在任中の改憲について「賛成」は21%で、「反対」の39%を下回った。「分らない」は39%だった。

調査方法が異なるため単純に比較できないが、岸田首相の在任中の改憲について昨年の調査は「賛成」27%、「反対」52%だった。

今年の調査では、全ての年代で「反対」が「賛成」を上回った。「反対」が最も多かったのは18、29歳で、45%だった。

支持政党別に見ると自民支持層でも、「賛成」が34%にとどまり、「反対」も25%あった。公明支持層は「賛成」「反対」のいずれも2割強。野党では国民民主支持層で「反対」48%、立憲民主支持層も「反対」が59%と、「賛成」を上回った。「支持政党はない」でも「反対」が33%、「賛成」は15%だった。

また、「賛成」「反対」を問わず改憲に関心があるテーマを聞くと(複数回答)、「自衛隊の明記」が42%で最多、「大学などの無償化」「同性による結婚」「2院制のあり方など国会改革」がいずれも2割強で続いている。

学術会議は、科学者が戦争遂行のため軍事研究に総動員された、戦前の歴史への厳しい反省を踏まえ、1949年に設立され「戦争を目的とする科学研究は絶対にこれを許さない」旨の声明を出した。学術会議の原点である。学術会議はこれまで軍事研究を拒否する声明を3度にわたって採択している。学術会議法案の狙いは、この原点をぶすことである。

学術会議法案の「もっとも象徴的なのは、目的を記した現行の学術会議法の前文にある『平和的』の文言が法案では消えていること。現行法の条文にある『独立して職務を行う』の文言も踏襲されていない(東京新聞)。さらに、会員の選考は外部有識者で構成する「選定助言委員会」の意見を聞いた上で候補者案を作成する仕組みに。運営面でも「首相が会員以外から任命する『監事』が、内閣府に新設する『評価委員会』とともに業務や財務を点検し、意見を述べる枠組みとなる(同)。

政権の意に沿う組織に変質させ、科学者を再び軍事研究に動員することを目指すものだ。法案は参議院で審議中。学術会議を解体する法案は廃案にするしかない。(中)

私の主張

空襲体験を記録する会は1971年、戦後25年が過ぎ、戦争体験の風化という危機感の中で、全国空襲を記録する運動の広がりとともに結成された。ベトナム戦争があり、戦争を知らない子どもたち」の歌が流行った時だった。

空襲体験を募集し、1972年から3月17日に神戸空襲犠牲者合同慰霊祭を始め、市民からの募金で慰霊碑を築仙寺に造り(1975年)、「炎の形見」として空襲の遺品を集めてきた。1995年の大震災で中央図書館の戦災記念資料室が崩壊、2年後、兵庫図書館に神戸空襲戦災記念室が作られた。会は、神戸市のホームページの開設にも協力し、戦跡ウォークもスタートさせた(1999年)。

空襲犠牲者のお名前を集め記録してきたいという願いは、2011年によろしく神戸市の協力を得て、全国にも兵庫県内にも発信された。そして、2013年8月15日、大倉山公園に「神戸空襲を忘れないーいのちと平和の碑」を建て、その後は刻銘追加を2年ごとに行っている。最近では、ご家族が亡くなれば、戸籍謄本をとったところ、知らない名前があり「空襲によ

戦後80年の取り組み
次世代への継承めざす

た加害の国でもある。また、神戸は台湾の植民地化による鈴木商店の繁栄などから発展し、伊藤博文と大倉財閥による朝鮮の植民地化の中でも発展し、日本で1、2を争う貿易港になり、空襲の重要目標になった。

今年、戦後80年を迎えた。折からのロシアのウクライナ侵襲、イスラエルのガザ、パレスチナの侵略・ジェノサイドもあり、大戦後の国際法秩序も壊されているような危機感を覚える。しかし、無力感だけでなく、戦争はよそごとではない、自分も何かできないか、

家族は何か生き永らえたので、亡くなった方のごことを思うと話せなかった」という方もある。目の前で母や兄弟を亡くされた方は、家族にもその体験を話さなかった。

また、戦争孤児となった人々も、その体験の重さから長く口を閉ざしてきた。白井勝彦さんの戦争犠牲者としての共感と想いから口を開いてくださった方も多く、神戸の戦争孤児の歴史と体験を紹介したい。

また、アメリカ軍による戦後すぐの映像から見る神戸空襲の実相や、戦前の神戸の何が

再発足の総会と記念講演会

明石神戸PFAS汚染と健康を考える会

明石川のPFAS汚染問題について学習会や住民の血液検査、市や県への要請活動などに取り組んできた「明石川流域のPFAS汚染を考える会」は、汚染源や影響が明石市に限らず神戸市にもま



岡山県吉備中央町の住民団体からの報告や専門家による講演があった＝4月13日、明石市

たがっていることなどから、このたび「明石神戸PFAS汚染と健康を考える会」(渋谷進代表)として再発足。その設立総会が4月13日、明石市内で開かれた。

吉備中央町の小倉博司さん(円城浄水場PFAS問題有志の会代表)は、水道水に国の目標値の16～28倍にあたるPFOAが検出されていたが住民には知らされず高濃度汚染水を飲まされ続けていたこと、基地や大企業など汚染源のないはずの高原台地の町での汚染原因はPFAS除去に使われた使用済活性炭であったことなどを、ある日突然、町から知らされたと報告。

町に働きかけて公費で住民709人の血液検査を実施させた経過なども報告。「血液検査の結果を受けて今後どうするかの問題意識や方針が、国・県はもとより町にもないことが非常に悩ましい」と語った。汚染対策や環境

回復にかかる多額の費用は、一企業だけで負えるものではないが、黙っていたら放置されてしまうので、子どもたちや将来のために、汚染者負担の原則で企業や国、自治体に責任を取らせるために「PFAS基金」(仮称)を創設したいとも語った。



上脇博之・神戸学院大学教授が自民党裏金問題と知事選の間にメスを入れ深層に迫った＝4月20日、神戸市長田区

裏金問題と知事選の深層

上脇博之さんの講演会

市民と野党の長田共同アクション

市民と野党の長田共同アクションは4月20日、「告発続く裏金問題の深層」そして知事選で何が起ったか」と題した上脇博之さん(神戸学院大学法学部教授)の講演会を開いた。

上脇さんは「しんぶん赤旗日曜版」のスクープ報道と協力して自民党派閥の政治資金パーティーの不記載問題についていかにメスを入れていき、裏金問題へと大きく発展するきっかけをつくった立役者。

講演では、裏金問題が起ってきた背景とその実態について解説するとともに、1994年の「民意を歪曲した」「政治改革」以降、政権・与党が暴走してきた政治の構造の問題点を指摘。そのうえで、裏金づくりができないようにする政治改革や、企業・団体の政治献金の禁止、政党助成金(政

党交付金)の廃止または制度改革など、主権者・国民のための真の政治改革の必要性を説いた。さらに、2つ目の話として、先の兵庫県知事選における斎藤知事の選挙運動をめぐる買収疑惑について、郷原信郎弁護士とともに刑事告発した事態などについても詳しく解説した。

朝鮮の平和的統一とヘイトや差別のない社会をめざして始まった統一マダン神戸が今年28回目を迎える。その統一マダンのプレイベントが4月27日、兵庫区文化センターで開かれ、韓統連(在日韓国民主統一連合)の李俊一(イ・チュニル)事務長が「ペンライトが照らす韓国未来」をテーマに講演した。

「ペンライトが照らす韓国未来」尹元大統領の退陣運動の講演

統一マダン神戸イベント

効請求を認め、尹大統領を罷免した。判決をリアルタイムで注視していた李俊一さんは判決を振り返りながら、憲法裁判が尹元大統領の詭弁をことごとく退け、違法行為を明らかにしたことを紹介。同時に憲法裁判による大統領の罷免が、民衆による大統領退陣運動の拡がりや結果の結末だったことを強調した。とくに今回の退陣運動のなかでは、従来の民衆歌謡にかわりKポップが登場、また「推しのペンライト」「光の革命」に見られた差別やヘイトに苦しめられていた10代、20代、30代の若い女性たちが運動の主体に登場したことなどの特徴が見られるとして、韓国における民主主義の運動を一段高みに押し上げたと評価した。

精神医療のあり方で特別セミナー

長谷川利夫杏林大学教授が講演

初田竹重さんの人権回復を求める会

「初田竹重さんの人権回復を求める会」が主催する特別セミナーが4月19日、神戸市内で開かれた。

同会は、精神科病院に入院中だった初田竹重さん(加西市)が隔離中にパンを喉に詰まらせて亡くなったことをめぐる損害賠償請求訴訟(昨年8月26日に神戸地裁に提訴)をきっかけに発足した。

各地の精神科病院で隔離や手足をベッドに縛り付ける「身体的拘束」が横行しているが、こうした精神医療の現状にどう向き合えばいいのかを考えた講演と、講演と代理人弁護士による裁判の報告が行われた。

講演では、「ともに生きる精神医療のこれから」とのテーマで、杏林大学教授の長谷川利夫さんが、「身体拘束」からみる日本の人権状況、我々はどう

今西雄介さんと田中勇輝さんの2人の弁護士からは、初田竹重さんの入院から訴訟提起までの経緯や死亡時の状況が報告され、「身体拘束」の法的要件や裁判経過が説明された。

長谷川利夫さんは、「精神医療について大っぴらに話ができる段階にきた」と指摘、精神医療のあり方を変えていくために、精神医療関係者以外に「身

に話ができる段階にきた」と指摘、精神医療のあり方を変えていくために、精神医療関係者以外に「身

に話ができる段階にきた」と指摘、精神医療のあり方を変えていくために、精神医療関係者以外に「身



精神医療のあり方を見直す講演のほか、代理人弁護士からの報告もあった＝4月19日、神戸市中央区



第27代高校生平和大使・兵庫のメンバーが約90人を前に活動報告を行った実行委員会総会＝4月26日、神戸市中央区

高校生平和大使が活動報告

支援する兵庫県実行委員会が総会開く

高校生平和大使を支援する兵庫県実行委員会は4月26日、第6回総会と第27代高校生平和大使・兵庫の活動報告会を神戸市内で開催し、約90人が

参加した。西村恭介実行委員長の主催者あいさつの後、兵庫被団協相談役の黒田一美兵庫県議が、日本被団協のノーベル平和賞受

賞の喜びを語るとともに、ノーベル委員会の声明の中で「日本の若い世代は被爆者の経験とメッセージを継承している」と述べられていて高校生平和大使の活動も受賞への力

賞の喜びを語るとともに、ノーベル委員会の声明の中で「日本の若い世代は被爆者の経験とメッセージを継承している」と述べられていて高校生平和大使の活動も受賞への力

との難しさはあっても、被爆者の方の話や訪問先で学んだことを通して、相手の価値観を知り、自分の考えを伝えることで理解し合えるはず」との言葉は、諦めが先に立つ時もある活動の中で未来を見据える力が求めら

との難しさはあっても、被爆者の方の話や訪問先で学んだことを通して、相手の価値観を知り、自分の考えを伝えることで理解し合えるはず」との言葉は、諦めが先に立つ時もある活動の中で未来を見据える力が求めら

きし(来住)文男さんを擁立

社民党、参院選兵庫選挙区に公認候補



来住文男さん

新社会党県本部と社民党 県連が共同街宣

5・3兵庫憲法集会会場前で

新社会党兵庫県本部と社民党兵庫県連は5月3日、「5・3兵庫憲法集会」の会場である神戸市中央区のみなどのより公園の入り口で、集会参加者に向けた共同の街頭宣伝行動を行った。

あわはら富夫・兵庫県本部委員長(神戸市議)や大島淡紅子・社民党兵庫県連副代表(宝塚市)らがマイクを交代しながら、危機的な状況にある憲法9条の大切さとともに、憲法を守り、生かすたたかいの強化を呼びかける訴えを行った。



みなとのもり公園の入口で新社会党と社民党の共同街宣＝5月3日

かい正康サポーターズ須磨の集い

- ・5月25日(日) 15:30～17:00
- ・パティオホール(須磨パティオ健康館3F)
- ・かい正康の決意と政策ビデオ上映

かい正康サポーターズ垂水の集い

- ・5月31日(土) 10:00～
- ・レバンテ垂水 第4会議室

3)に、公認候補として新人の来住(きし)文男さん(65)を擁立することを7日、発表した。

来住さんは姫路市出身で、元JR東海職員。今年2月の退職まで東海道新幹線の保線の仕事に携わっていた。国労の役員

や社民党京都府連幹事長などを歴任し、現在は兵庫県連国政対策委員長。7日に県庁で会見を開いた来住さんは、「ローカル線の廃止反対やパワハラを許さない社会などを訴え、『希望を運ぶ政治』をスローガンにしたたか

か」と決意を語った。

新社会党兵庫県本部の栗原富夫委員長は、「今回の参院選は、社民党の政策要件の維持の成否がかる重要な選挙。たんに社民党という政党だけの問題ではなく、護憲勢力総体にとってもたいへん重要な意味を持つ課題だ。兵庫選挙区への来住さんの立候補表明を歓迎する。今後、機関連手を経て推薦を決め、社民党比例

社民党・新社会党共同アピール(要旨)

憲法記念日にあたつて

戦後80年、被爆80年の憲法記念日を迎えた。日本国憲法は「戦争の放棄」を高らかに宣言したが、今年度の政府予算で防衛費は8兆7千億円と史上最高額を更新した。「中国の脅威」「北朝鮮の脅威」を口実とした軍事拡大は全国に広がり、住宅街にも弾薬庫が作られる事態となっている。それでもトランプ米大統領は「もっと防衛費を増額しろ」と日本政府に迫っている。

「戦争の放棄」はただ12万人には嘉手納基地や

の理想論なのだろうか。そんなことはない。防衛省は3月末、「台湾有事」に際して沖縄・先島諸島住民ら12万人を九州各県や山口県に避難させる計画を明らかにした。それによると12万人を6日間程度で自衛隊や海上保安庁の船舶、民間のフェリー、航空機を使って避難させ、その後、貸し切りバスなどで滞在地のホテルなどに宿泊してもらうとしている。机上の空論とはこのことだ。こうした「有事」の際

普天間基地がある沖縄県で最も住民の多い沖縄本島の人々は含まれていない。運転手不足が叫ばれているなかで12万人もの人々を一気に輸送することなど到底不可能だ。飼育している牛や馬、そして畑はどうなるのか。

沖縄戦で「対馬丸事件」の悲劇が起こった。対馬丸は幼い子どもたちの疎開のために長崎へ向かっていたが、米海軍の潜水艦の魚雷攻撃を受け、約1500人が死亡した。こうした「有事」の際

非核神戸方式50年

非核証明書なしの米艦船入港で考える

方式守るのは自治体力と市民の力

神戸港に入港する外国艦船に非核証明書の提出を求める「非核神戸方式」ができて今年で50年。この制度は、1975年3月18日に神戸市会で可決された「核兵器積載艦艇の神戸港入港拒否に関する決議」に基づくものだ。しかし折も折、その決議成立50周年の日の翌日3月19日、米艦船の神戸港入港の申請が出され、米海軍が公表した。いろいろなやりとりがあったのち、久元喜造神戸市長は3月21日、非核証明書なしの米艦船の神戸港入港を認め、3月24日、米海軍の掃海艇ウォーリアが神戸市灘区の摩耶埠頭に接岸した。この50年間で初のことだ。新社会党や憲法を生かす会などは現地で抗議行動を起こしたが、今回の事態をどう考えるのか、あわはら富夫神戸市議に報告と問題提起をしようとした。

【編集部】

ねらいは「非核神戸方式」つづし

今回の入港申請は、非核神戸方式50周年を意図した日本政府とアメリカ海軍の「非核神戸方式つづし」の意図を持ったものであるのは明確だ。

「安保3文書」改定の閣議決定以降、基地の強化や民間港を軍事利用しようとする「特定利用港湾」指定の動きの中で、米艦船の入港を50年間くいとめている「非核神戸方式」を無力化するのでは、先される平和国家への道をめざす勢力の拡大を実現しよう。

2025年5月3日

区から立候補を予定しているかい正康さん(新社会党市民運動委員長)の選挙とあわせて、支援していきたい」と述べた。

兵庫選挙区ではすでに現職の自民、公明のほか、維新、共産、国民、れいわ、参政、NHK党、無所属(立民推薦)の新人ら9人が立候補の意向を表明しており(5月11日現在)、ほぼ全党派が出揃う様相だ。

「呼びかけ」

社民民主党・市民共同
社民民主党党首 福島みずほ
新社会党委員長 岡崎ひろみ

米海軍の掃海艇ウォーリアの神戸港入港に抗議する市民＝3月24日、神戸市灘区・摩耶埠頭

しまったのが、今回の米艦船の入港だった。「非核神戸方式」は終わったのか!?

一部の自民党議員は「これで『非核神戸方式』は終わった」と喧伝している。

しかし、神戸市が証明書の提出を求め、入港を許可した当日まで米総領事に非核の確認を求めるなど、「非核神戸方式」を最後まで守ろうとした姿勢は評価できるものだ。

また今回、ウォーリアが日米地位協定5条(※)を振りかざし、神戸市の港湾管理権を無視して入港したのではなく、あくまでも神戸市港湾局の指示に従って摩耶埠頭に接岸したということは、自治体の港湾管理権の強さを証明したこともである。ただ、今後は米艦船の入港が続くことが予想される。核搭載ができない木造掃海艇でなく、核搭載可能なイージス艦や空母が入港する場合は個々に核搭載を確認するしかなく、「核搭載が疑われれば入港を拒否する」との市長答弁は活きてくる。

私たちは、今後も「非核神戸方式」は活きている」との構えを崩すことなく、自治体力と市民の力で平和で安全な神戸港を守る運動の強化が必要だ。

(神戸市議 あわはら富夫)

(※)米国の艦船や航空機が米軍が使用する施設や区域以外にも日本の港湾や空域に出入りできる権利を定める。

阪神大震災から30年

震災時の活動を振り返る

神戸地区労がメーデー

神戸地区労主催の「阪神大震災から30年 震災と労働組合の活動を振り返るメーデー」が4月27日、神戸市中央区の兵庫県学校厚生会館で約50人が参加して開かれた。

神戸ワーカーズユニオン（神戸ワーカーズユニオン）の木村文貴書記長は震災直後の「労働相談」について、「不安の中で始めた労働相談活動だが、労働者に寄り添い、解決の手立てを探す中で、解雇や雇用保険の問題を可視化させ、労働者のライフラインをつないでいったと報告。小林のみずさん（前神戸市議）からは「阪神・淡路大震災直後の様子を伝えるテレビ映像を観たあと、震災後に取り組まれた様々な活動が報告された。



阪神・淡路大震災から30年を機に震災と労働組合の活動を振り返ったメーデー＝4月27日、神戸市

設住宅労働実態調査」について、あわはら富夫神戸市議からは「被災者の公的援助法」実現にむけた取り組みがそれぞれ報告された。被災地を応援しようと20回まで取り組まれた「被災地メーデー」の報告も行われた。

休憩をはさみ、神戸ワーカーズユニオン・ろうこつ医生協会の仲間が、災害時に役立つ「応急手当の方法」を新聞紙やパンダを使って紹介。参加者も楽しく取り組んだ。後半は全港湾神戸支部、兵庫県職労神戸支部、社保労連兵庫支部の3つの労働組合がそれぞれ震災後に労働組合として取り組んだ活動を報告。「震災過労死の仲間の公務災害認定の取り組みなど、災害時の労働者の健康問題について改めて考えさせられた事例もあった。

闘いの報告の集会とデモ行進

尼崎地区労・MAYDAYあまがさき

会場にはこれらの取り組みを経験していない参加者もいたが、次世代へ

集会は「ベンセレモス」の合唱で幕を開けた。主催者あいさつに立った酒井浩二実行委員長（尼崎地区労議長）は、物価高騰にあえぐ労働者を置き去りにした政治を厳しく批判。あわせて春闘の波及効果が中小零細企業や非正規労働者には届いていない中で、労働組合の価値が問われ続けていると訴えた。そして、6月に行われる尼崎市議会議員選挙で尼崎地区労の組織内候補であるいちのせ剛さんの勝利と、参院選での野党勝利で政治の流れを変えようと訴えた。

来賓として、大阪労働者弁護団から森博行弁護士が駆けつけ、4月17日に大阪高裁で言い渡された加茂生コン事件の差し戻し審判決を中心に解説し、関西生コン支部の闘いが労働基本権を守る闘いであることを強調した。

尼崎地区労が呼びかけた「MAYDAYあまがさき2025」が5月1日夕、尼崎中央公園（阪神・尼崎駅北側広場）で開かれ、約100人が参加した。

闘いの報告では、県職労から知事選後の県政混乱問題、武庫川ユニオン三田屋分会から裁判闘争の報告、そして全日建連帯関西生コン支部から京都事件での完全勝利判決などの報告が行われた。



酒井浩二議長は尼崎市議選での組織内候補のいちのせ剛さんの勝利も訴えた＝5月1日、尼崎市

インフォメーション

■もうやめようあぶない原発！大集会inおおさか&デモ
◎6月8日（日）13時、集会／14時30分、デモ行進◎大阪・うつぽ公園（メトロ大阪・本町駅28番出口を北へ徒歩5分）
◎主催：老朽原発つごかすな！実行委員会
■かい正康さん街頭宣伝
◎6月8日（日）12時、13時◎うつぽ公園入口付近◎主催：新社会党近畿ブロック協議会

23日に、医療関係会社は5月24日に、スタクシーは5月27日に、それぞれ春闘交渉を予定している。あかし地域ユニオンの組合員は正社員もいるが、非正規労働者や派遣労働者も数多くおり、低賃金を余儀なくされている。引き続き「物価を上回る賃金の引き上げ」を求めて全力を上げたい。

地域ユニオン あちこちあれこれ

2025春闘は、大企業では物価高や人不足を背景に2年連続の5%以上の賃上げを求めている。求書を提出して、現在も

れている。しかし、昨年は中小企業との格差が広がったことから、連合は格差の縮小を大きな目標に掲げていて、中小企業の交渉は5月まで続き、その情勢を見守っていかなければならない。

あかし地域ユニオンの組合員は、中小企業がほとんどだが、組合員が働く7社に対して、3月には賃上げを求める春闘要求書を提出して、現在も

中小・零細企業の25春闘

うにした。

交渉の結果についてだが、零細企業の自動車部品品の金属加工会社は、4月1日に春闘交渉を行い、厳しい経営状況だが、従

当の改善はあったものの賃上げも通勤費支給もできないとの回答に組合員は納得せず、再度4月17日に交渉を持った。残念ながら、赤字経営の現在

少し前進した。

NTTの下請け会社とは（組合員は非正規社員）4月8日に春闘交渉し、「賃上げは検討中」と

そのほか、大手信託銀行（非正規社員）は5月

23日に、医療関係会社は5月24日に、スタクシーは5月27日に、それぞれ春闘交渉を予定している。あかし地域ユニオンの組合員は正社員もいるが、非正規労働者や派遣労働者も数多くおり、低賃金を余儀なくされている。引き続き「物価を上回る賃金の引き上げ」を求めて全力を上げたい。

次本理（あかし地域ユニオン書記長）

夏の暑さに備えて

半田手延べそうめん

阿波白糸 徳島県つるぎ町半田 芝製麺

300年の伝統を誇る麺のふるさと、半田。霊峰剣山の寒風と吉野川の清らかな流れに育まれた里で、原材料と製法にこだわって作り続ける芝製麺の、人気の定番商品を今年もご案内します。

太麺	2 ^キ 箱入り	3,500円	3 ^キ 箱入り	5,200円
細麺	2 ^キ 箱入り	3,500円	3 ^キ 箱入り	5,200円



- 一括配達をご希望の皆様には6月1日頃から順次配達致します。なお、配達には当社担当者が職場や地域を単位として無料でお届けしており、時間指定や遠方への配達にはできません。予めご了承ください。一括配達注文締め切りは5月26日（月）です。
- お中元やお盆のお供え用として送られる場合は、宅配便（料金別途）利用で締め切り日にかかわらず、ご注文を受け付けています。案内チラシの裏側注文用紙にご記入の上、FAXまたはメールで送信してください。

(有)ぴいぷる

電話/ファックス 078(531)0135

メール/people.syokutakuouen@gmail.com



おんなの目

「手取りを増やす」という謳い文句で所得税の非課税限度額を上げていこうと国民民主党が大きく取り上げて税制改正がなされま

した。

この間、税金を払わなくていい方法、減税についての声が大きくなっています。物価が上がり生活が苦しくなって、手取りを増やしたい気持ちは分かりますが、それが税金を払わない方向へ向かうのが果たして良い方法なのでしょうか。

私たちが健康で安心して生活するための元になるのが私たちの納めている税金です。昨年の秋、高校生に税金の話をする機会がありました。なぜ日本国憲法で納税の義務が課されているのか。日本では50種類の税金があり、なぜそんなに多くの種類があるのか。それは、私たちが健康で安心して生活を送るために必要な税金をみんなで負担していく、そして色々な税金の種類で幅広く負担する力に応じて広くなるべく公平に負担していただくために考えられています。その税金については、法律によって決められるので決めるのは法律を作る議員であること、また、その税金の使い方を決めるのも議員であること、その議員を選んでいるのは国民である自分たちであること、従って税金に

ついては自分たちで決めていることになりました。だから税金の大切さを知ってちゃんと納める、そしてその使い方についてもきちんと見ていく、そういう大人になってほしいと話しました。

後日頂いた感想文で、
「税金を知ることの大切さ、納めることの大切さを知った、税はなくてはならないものだという

税金について思うこと

ことを再認識しましたが、今みたいに消費税が増えたりするのも生活に支障をきたすのでバランスをとった税金をとってほしいと思いました」等々、税金について考えた意見が多くあり、とても嬉しかったです。

税理士の松沢清乃さんが、税金について、税金は正しく納め、その使い方に ついてちゃんと見ていくことが大切で、それを伝えるのが税理士の役割との話を強くされてしまった。税金はなるべく払いたくないという人が多い中、そういった姿勢で働いている姿に感銘を受けました。私も後に続くことができたと思ったのがきっかけです。

その人の持てる力に応じて働き、負担できる力（払税力といいます）に応じて税金を納め、そしてその使い方についてもきちんと見ていく、そういう姿勢で税金についてとらえることが大切だと思います。

税金の制度はまだ満足できる制度とはなっていないし、その使い方については納得いかなることのほうが多いと思います。

「額に汗して働く者の流した汗が報われる社会を！」——私の好きなスローガンです。

働く者の納めた税金を必要に応じて大切に使う、これってほしいと心から思います。

納税者として義務を果たしながら厳しいチェックをしていくことで政治に参加していく、また、そのような見方のできる人を議会に送り出す、その活動の中でこれからの若い人たちに姿勢を示していくことが必要かと思っています。

（大西美智代）

『東電の原発事故で人生が変わってしまった菅野みずえさんのお話』

アイリーン・美緒子スミス（インタビュアー）／アジェンダプロジェクト／1200円＋税

東日本大震災から14年が経過した。今年の2月時点で兵庫県には468人が避難されており、その6割は福島原発事故の被害者と言われている。語り手の菅野みずえさんは福島第一原発のある大熊町の包括支援センターで業務中に地震に遭っている。自宅は隣接する浪江町にあり、帰還困難区域になってしまっ

た。この本は、原発事故の10年後、アイリーン・美緒子・スミスさんがインタビューをした対話形式になっている。

3月11日の地震の起きた時間から、福祉士として利用者を避難誘導させた後、マイカーで地割れし渋滞する道路を通りなんとか乗り切って帰宅。原発事故の情報も知らされず

原発事故10年後の避難者の語り

呼び続け、他の避難所情報を聞き、急いで去っていった。それが誰だったかわからない。あとでわかったことだが、12日にはすでに放射能が降っていたのだ。出ている皮膚はみんなバリバリ、粉がふいたようになり、笑うとビリッと割け、血が流れた。避難してきた人も、外に出なかった人以外は同じ症状になったそう。14日には大きな爆発音も聞き、すごい臭いと気味くさい味も12日と同じ。避

難したあとは腹痛の無い下痢が続き、みんな同じ症状で急性腸炎と診断されたが、ノロでもロタでもなく痛みも嘔吐も無く、避難所ではトイレの取り合いだった。ひどい口内炎にもなっている。

浪江町は15日の朝に全町民2万1500人が二本松市に避難することが決まる。隣の大熊町は12日早朝にはすでに全町避難していたのに、原発立地に反対していた浪江町は国か

う。手塩にかけた盆栽や野生動物の食料のことまで考えて行動していることに緊迫感が伝わってくる。

その後の避難所生活では「福島差別」に遭いながらも、浪江町長の「どこに住んでも浪江町民だ」の言葉に救われたとのコラムもあるが、最終ページの「おわりに」で、菅野みずえさんはこう書いている。「毎年3月が近づいてきたら気持ちが不安定になってしまふ。松ちゃんは今本当に賢い犬だった。あの時、国が、県が本当の事を教えてくれていたら、松ちゃんは生きていたよね。結局、『逃げた方がいい』ということをやっと教えてくれたのは、あの防護服の2人だけだった。私たちは本当に見棄てられていたんだ。このことが一番、気持ちを不安にさせるんだと思う。当日の情報の断絶、事実とは全く違う情報、不安、息子を助けたいと思う気持ちや焦燥感や良心の呵責にさいなまれている時に、国や県はあの時、私たちを見捨てていたんだ……」

（加納花枝）

本棚

シンシン／SING SING

題名の「シンシン」とは、ニューヨーク州にある現在の刑務所である。

「RTA」(Rehabilitation Through the Arts)という芸術を通じた更生プログラムを実施している、そこで起こった実話を下敷きにしてこの映画は作られている。

驚くべきことは、主役とあと数人を除いた大部分の登場人物は、そのRTAを刑務所内で経験した元収監者が演じていることだ。エンドロールでは、人物名のあとに「as himself」と表示されている。全米の出所者の再犯率60%に比べて、RTA経験者は何と30%という事実、この更生プログラムの効果を如実に物語っている。

登場人物はほぼ収監者で、舞台は刑務所の中、これといった大きな出来事が起こることもなく物語は静かに淡々と進んでいく。中心となるテーマは、罪を犯した収監者が、演劇を通して友情や仲間意識を育み、心を癒し



シネマランド

収監者が演劇を通して人間性を回復

「自分がハドソン川が見ていた人間性を浮かび上がらせていくのだ」と思った。そして、それを話す登場人物が本人自身であることを考えると、その内容は台本の台詞ではなく、まさにその人物

自身が発したものだ。この映画はその配役の特性ゆえに、よりリアルな物語として見ることになる。

もう一つ紹介すると、劇の練習中にブレントが新しく入ったマクリン（クラレンス・マクリン 本人）に、「怒りの演技は簡単だが、傷つく演技は

監督IIグレッグ・クワンエターノ2023年ノアメリカノ107分